

種名	ハナニガナ <u>Ixeris dentata var. albiflora form. Amplifolia</u> 					
	分類	被子植物双子葉植物綱キク科	俗称		生活型	多年草
分布	日本全土、中国、朝鮮に分布する。					
形態	細い茎が直立し、高さ 30 cm内外。葉は倒披針形で不規則に羽裂し、縁に歯牙がある。茎葉は耳状に茎をだく。茎や葉を切ると乳液がでる。					
類似種						
生息場所	人里の路傍や低山に普通にはえる。					
繁殖	花期は 4～7 月、茎の先が分枝し、径 1.5 cmほどのやや小さな黄色ときに白色の頭花を多数つける。小花は舌状花のみ。小花が 5～7 個のものと 7～11 個のものが混生し、後者をオオバナニガナ(ハナニガナ)と呼ぶ。また、白色頭花のものをシロバナニガナという。 瘦果には汚褐色の冠毛がある。					
他生物との関係						
配慮のポイント						
引用文献:『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物Ⅰ 双子葉植物』を改変						